

第4回 沖縄県北部地区高等学校・名桜大学 高大接続勉強会報告書

2020年11月26日に第4回高大接続勉強会を開催いたしました。本勉強会は、高等学校と大学の相互理解の場として、高校教育の現状や大学が目指す教育改革の方向性について意見交換を行い、高大接続の実質化に向けた具体的な方策を共に考えることを目的として、平成30年度より毎年開催しております。その内容として、北部地区の高等学校管理職を含めて進路指導及び教務担当教諭と名桜大学関係教職員が連携し、入学前教育の実施や大学の初年次教育、入試改革に関する情報提供等を行ってきました。ただ単に、教員間の交流のみで終わるのではなく、大学入学を控えた高校生の大学体験学習や本学の先輩学生との交流を図ることで、高大接続の実質化をより具体的な取り組みとして実施しているものです。

今回は、新型コロナウイルス感染防止のため、オンラインでの勉強会となりましたが、新しい入試選抜の在り方やその対応に追われる高等学校からの忌憚のないご意見や要望等が出され充実した勉強会となりました。しかし、時間の関係もあり、直近の課題である入試対策についての意見交換に終わり、高大接続勉強会の本来の趣旨が十分に議論できなかったという課題も残りました。

次年度に向けて改善を図り、特色ある教育活動のさらなる充実を目指してまいります。

内 容:

1. 全国の高大接続の動向についての報告

- ①学力の三要素が重要であること、高大接続は、入試改革ではなく教育改革であること
- ②2025年度までに全大学で数理データサイエンス教育の必修化を目指していること
- ③大学の大学機関別認証評価では、意欲ある多様な学生を受け入れることが重視されていること
- ④認証評価では、高校側の意見もヒアリングされたこと等

2. 2020年度新入生学力調査結果の報告(全体と北部地域の学生の比較等)

3. 2020年度の入学前特別講座の計画について紹介・連絡

- ①入学前特別講座Iの計画について
- ②入学前特別講座II(ライティング・数学・英語)の紹介

4. 今後の入学者選抜についての報告

- ①R4(2022)年度入学者選抜(予告)
- ②R3(2021)年度入学予定者に対する入学前学習プログラムについて説明がありました。
- ③大学HPからの閲覧方法について説明があったこと
- ④看護学科の変更点について説明があったこと

5. 高等学校における進路指導の取り組み状況について、各参加校から以下の報告を受けました。

- 受験対策として小論文講座を実施
- スタディサプリを導入していること。
- 希望する生徒にはチューター制教員をつけて指導している。
- 事前提出型小論文・オンライン面接を高校側でサポートした。
- 面接対策は、国公立希望者には30分の5回トレーニングをしている。
- 教員もオンライン面接が不慣れなので、これまでの入試は生徒本人に任せた。
- 学校側のICT環境を強化していること。
- 情報の先生を中心にICT環境を構築したこと。
- 事前提出型小論文や入学前学習の対応で大変ではあるが、高校側の努力も必要。
- 高校生は合格したら終わりという意識があり、これが課題であること。

- 入学前学習は高校2年対象でもよいかもしれないということ。
- 推薦入試の通知表において学力3要素に分けて記述する部分はとても苦勞したこと。
- 課題は始動が遅いこと。出願の願書完成がギリギリとなること。
- 一つのテーマで、放課後トークサロンを開催していること。

6. 意見交換

- コロナ禍の入試となり高等学校の対応で大変であったことについて
- 当初は計画になかった三要素の記述には、文科省入学者選抜要項について(通知)にもとづき、調査書の書き方について指導があったこと。(大学)
- 国際学群総合型 オンライン面接がまったく同じ時間で設定されており、通信環境が不具合があると対応できないため、時間をずらしてほしいという要望があったこと。
- その他

配布資料

- ① 発表スライド・入学前学習の日程等
- ② 【最終報(第3報)】令和4(2022)年度名城大学入学者選抜について(予告)
- ③ 令和3(2021)年度総合型・学校推薦型選抜 合格者対象 入学前教育に関するお知らせ(国際学群、人間健康学部スポーツ健康学科、看護学科)

<当日の発表資料より紹介>

名城大学 MEIO UNIVERSITY 第4回 高大接続勉強会 「生涯に亘って学び続ける力の育成を目指して」 1. 進路指導に当たる高校の教員との連携 (1)大学側から入学後の成果・課題・今後の取組の提示 (2)高校側から進路決定までの指導と課題の情報提供 (3)入試に関する情報共有 2. 入学前特別講座Ⅰ 高校と大学の接点を増やすことで学習意欲を高める (1)意識改革(先輩と後輩の交流会) ①大学生から現在の目標の必要性 ②高校生から入学後の目標表明 (2)数学基礎力テストの実施 	名城大学 MEIO UNIVERSITY 2020年度 入学前特別講座Ⅱ 「ライティング・数学・英語」 ①ライティング講座 ②数学(主に統計に関する分野)講座 ③e-learningによる英語検定の学習 ★3学習センターの協働で、学生チューターがサポートしながら「ライティング、数学、英語」の講座を進める。 入学後に課題の多さに戸惑うということがあり、学習習慣を身に付けるという自覚を促すことも目標の一つである。 高等学校からも継続して欲しいという要望が出ている。
名城大学 MEIO UNIVERSITY 名城大学の学びのコミュニティ 入学前特別講座Ⅰ 「高校・大学における学びの接続」 先輩・後輩コミュニティ ウェルナビ 新入生 支援サークル 教養演習 LLC 言語学習 センター 英語 外国語 MSLC 数理学習 センター 数学 統計学 MWC ライティング センター 表現力 論文 ピア・ライティングプログラム 学生が学生を支援するシステム	名城大学 MEIO UNIVERSITY ◆ 高等学校からの要望 ○高大接続勉強会をぜひ毎年開催して、高大の意見交換会を活発にすることがお互いにとっても良いことではないかと思っています。 ○自己推薦や推薦入試合格者の勉強会は、とても良かったと評価しています。今年も是非継続していただきたいと要望します。生徒もこれに向けて勉強をしたり、意欲的に学習することができて良かったと思っています。 ○小論文講座を今年も是非実施して欲しい。希望者全員を対象にお願いしたい。 ○「北部枠」推薦の継続を希望しますが、個人的には大学入学共通テストを受けずに入学することに、抵抗があります。 ○やはり地元に着目した大学というイメージが強いので、大学の負担はあるかと思いますが、高校では取り組みが限られているので、健康測定会など地域密着型の取り組みを継続して欲しいです。

主 催：名城大学高大接続ワーキンググループ